

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和7年2月26日(2025.2.26)

【公開番号】特開2023-121111(P2023-121111A)

【公開日】令和5年8月30日(2023.8.30)

【年通号数】公開公報(特許)2023-163

【出願番号】特願2022-130384(P2022-130384)

【国際特許分類】

G 06 Q 50/10(2012.01)

10

【F I】

G 06 Q 50/10

【手続補正書】

【提出日】令和7年2月14日(2025.2.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

事業者がエネルギーを購入することで間接的に排出されたGHG排出量を示す間接排出量に含まれない事業者の活動により排出されたGHG排出量を示す他の間接排出量の導出対象である活動内容及び活動内容ごとの活動量を示す第1活動量データを取得する取得部と、

新たな活動量データの種別に対応する既存の排出原単位フォーマットから、前記新たな活動量データに示されるそれぞれの活動内容に対応する、他の間接排出量に関する少なくとも1つのカテゴリ及び少なくとも1つの排出原単位の少なくとも1つのセットを抽出する抽出部と、

前記少なくとも1つのセットの中から、ユーザの指示に応じて、前記新たな活動量データに示されるそれぞれの活動内容に対する1つのセットをそれぞれ特定することで、新たな活動量データに対する新たな排出原単位フォーマットを生成する生成部と、

前記新たな排出原単位フォーマットに基づいて、前記第1活動量データに示される活動内容ごとに、少なくとも1つの排出原単位を決定する決定部と、

前記少なくとも1つの排出原単位に基づいて、前記第1活動量データに示される活動内容ごとの活動量のそれぞれについて、GHG排出量を導出する導出部と

を備えるGHG排出量導出装置であって、

前記抽出部は、既存の排出原単位フォーマットから特定される、活動量データの種別及び活動内容と、他の間接排出量に関する少なくとも1つのカテゴリ及び少なくとも1つの排出原単位との組合せを教師データとして機械学習させた学習モデルに従って、信頼度が高い順に予め定められた数のセットを、前記少なくとも1つのセットとして抽出する

GHG排出量導出装置。

40

【請求項2】

前記活動量データの種別は、活動量データの作成に用いられたアプリケーションの種別に対応する、請求項1に記載のGHG排出量導出装置。

【請求項3】

前記活動量データの種別は、活動主体の業種にさらに対応する、請求項2に記載のGHG排出量導出装置。

【請求項4】

50

前記活動内容は、活動に関わる業者に関する業者情報を含む、請求項1から3の何れか1つに記載のG H G排出量導出装置。

【請求項5】

前記活動内容は、活動に関わる場所に関する地点情報を含む、請求項1から4の何れか1つに記載のG H G排出量導出装置。

【請求項6】

事業者がエネルギーを購入することで間接的に排出されたG H G排出量を示す間接排出量に含まれない事業者の活動により排出されたG H G排出量を示す他の間接排出量の導出対象である活動内容及び活動内容ごとの活動量を示す第1活動量データを取得する段階と、新たな活動量データの種別に対応する既存の排出原単位フォーマットから、前記新たな活動量データに示されるそれぞれの活動内容に対応する、他の間接排出量に関する少なくとも1つのカテゴリ及び少なくとも1つの排出原単位の少なくとも1つのセットを抽出する段階と、

前記少なくとも1つのセットの中から、ユーザの指示に応じて、前記新たな活動量データに示されるそれぞれの活動内容に対する1つのセットをそれぞれ特定することで、新たな活動量データに対する新たな排出原単位フォーマットを生成する生成部と、

前記新たな排出原単位フォーマットに基づいて、前記第1活動量データに示される活動内容ごとに、少なくとも1つの排出原単位を決定する段階と、

前記少なくとも1つの排出原単位に基づいて、前記第1活動量データに示される活動内容ごとの活動量のそれについて、G H G排出量を導出する段階と

を備えるG H G排出量導出方法であって、

前記抽出する段階は、既存の排出原単位フォーマットから特定される、活動量データの種別及び活動内容と、他の間接排出量に関する少なくとも1つのカテゴリ及び少なくとも1つの排出原単位との組合せを教師データとして機械学習させた学習モデルに従って、信頼度が高い順に予め定められた数のセットを、前記少なくとも1つのセットとして抽出する

G H G排出量導出方法。

【請求項7】

請求項1から5の何れか1つに記載のG H G排出量導出装置としてコンピュータを機能させるためのプログラム。

10

20

30

40

50